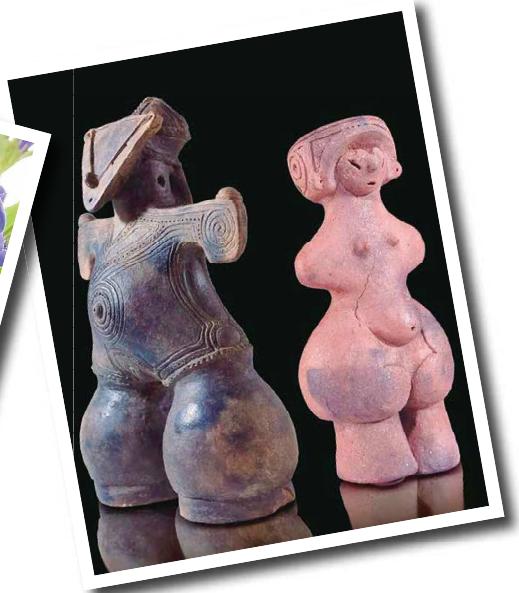




第5次茅野市総合計画 2018-2027



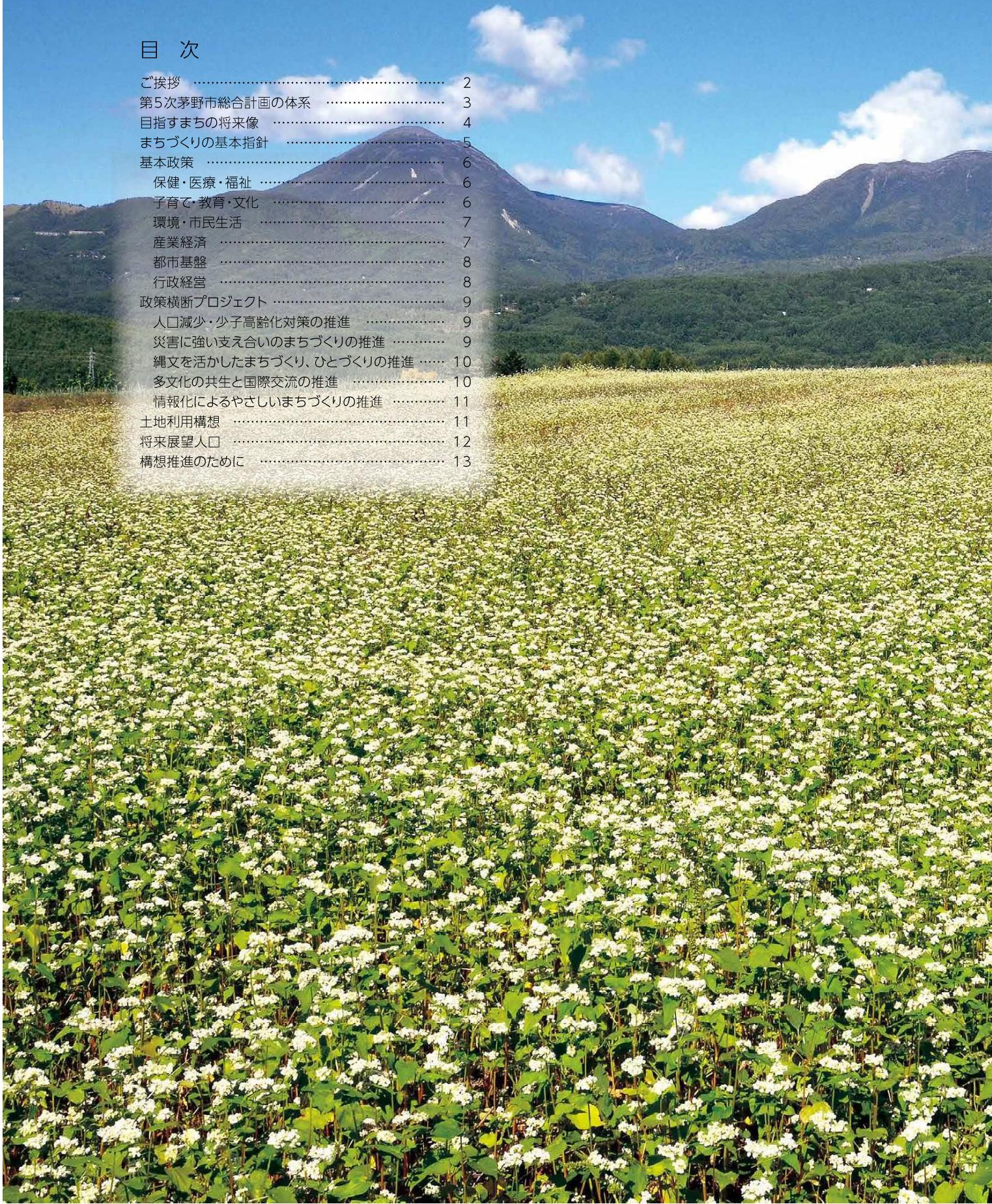
ハケ岳の自然、人、技、歴史が織りなす
やさしさと活力あるまち

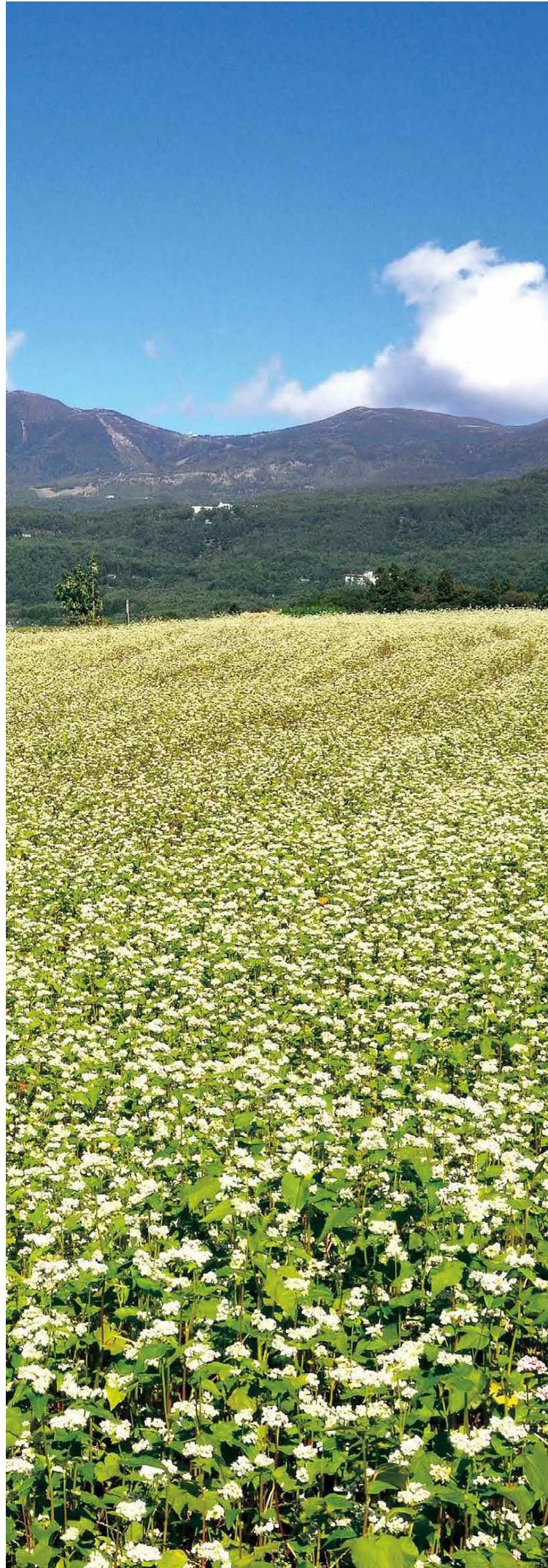


みんなでつくる みんなの茅野市

目 次

ご挨拶	2
第5次茅野市総合計画の体系	3
目指すまちの将来像	4
まちづくりの基本指針	5
基本政策	6
保健・医療・福祉	6
子育て・教育・文化	6
環境・市民生活	7
産業経済	7
都市基盤	8
行政経営	8
政策横断プロジェクト	9
人口減少・少子高齢化対策の推進	9
災害に強い支え合いのまちづくりの推進	9
縄文を活かしたまちづくり、ひとつくりの推進	10
多文化の共生と国際交流の推進	10
情報化によるやさしいまちづくりの推進	11
土地利用構想	11
将来展望人口	12
構想推進のために	13





本格的な人口減少時代の到来、進行する少子化・高齢化、頻発する大規模災害、老朽化する公共施設やインフラ施設への対応など、日本を、また、茅野市を取り巻く社会・経済情勢は大きく変化してきました。平成30年（2018年）は、茅野市が昭和33年（1958年）8月に市制を施行して以来、60周年の節目の年にあたります。この60年間、先人の努力により、茅野市は順調に発展を続けてきました。しかし、人口減少・少子・高齢化社会を迎え、茅野市は今、大きな時代の転換点の上に立っています。

このような大きな潮流の中で、平成30年度（2018年度）からスタートする第5次茅野市総合計画を策定しました。第5次茅野市総合計画は、目指すまちの将来像を「ハケ岳の自然、人、技、歴史が織りなす やさしさと活力あるまち」とし、ハケ岳に抱かれた豊かな自然を大切にし、未来の子孫に継承していくこと、暮らしの安全が確保され、安心して生活できること、そして、それらを支える産業があり、働くことに誇りと喜びがあるまちづくりを進めていくこととしました。

より厳しい時代が予想される状況だからこそ、大胆な発想の転換により、持続可能なまちづくりを進める必要があります。市民と共に描いた理想（ゆめ）を現実（かたち）にしていくため、市民をはじめとするあらゆる主体と市職員が、大きな目的の達成に向け想いを共有し、丁寧な合意形成を進め、信頼関係の上に立った「みんなでつくる みんなの茅野市」に向けたまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、第5次茅野市総合計画基本構想の策定や基本計画にあたる分野別計画の策定にあたりましては、茅野市総合計画審議会の委員25人をはじめ、都合600人を数える多くの市民の皆さんにご参画いただきました。改めてお力をいただいたことにつきまして、感謝とお礼を申し上げます。

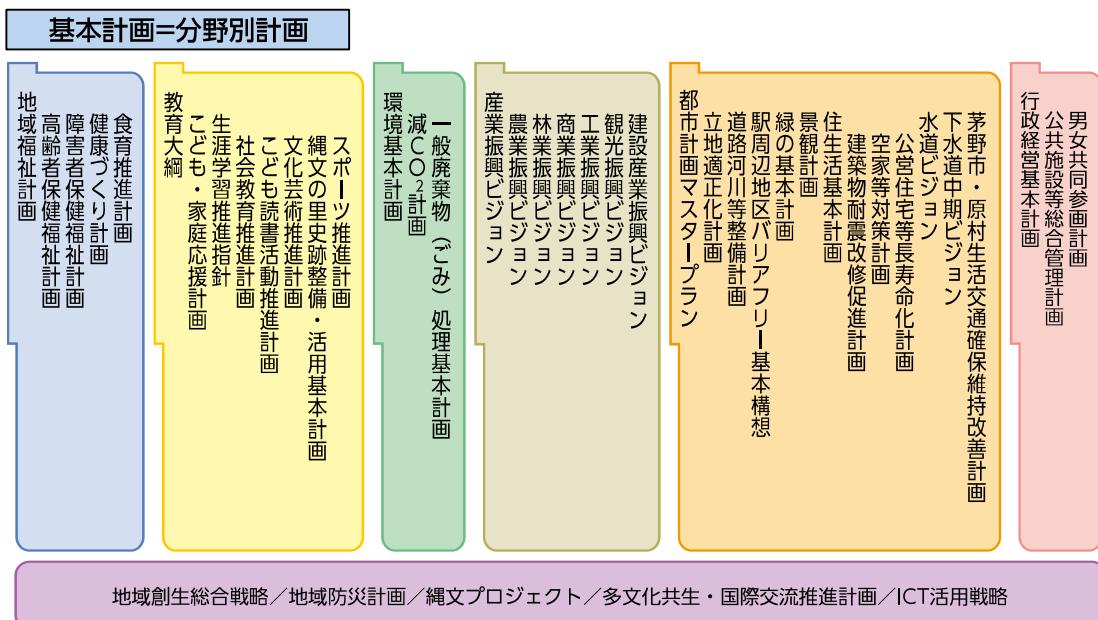
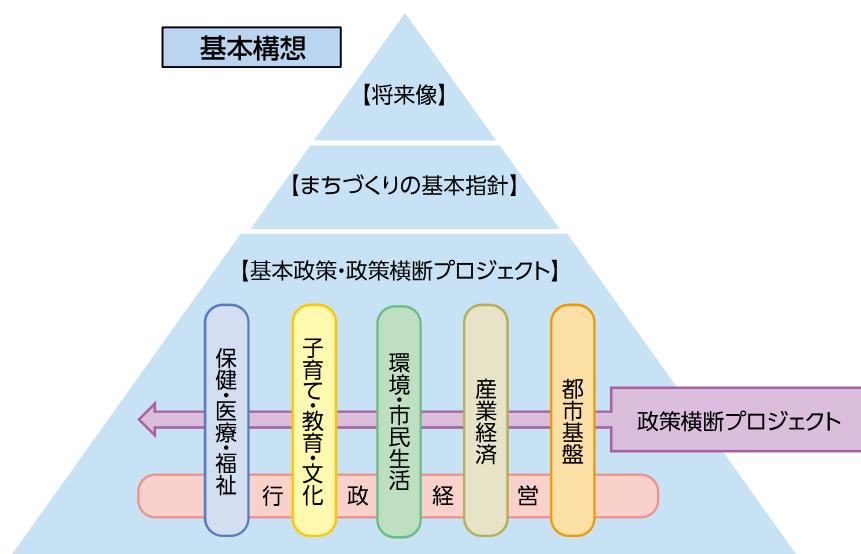
平成30年9月
茅野市長 柳平 千代一

第5次茅野市総合計画の体系

第5次茅野市総合計画は、「基本構想」及び「基本計画」により構成します。

◇**基本構想** 市の長期的な市政経営に係る目指すまちの将来像及び将来像を実現するための政策の基本的な方針等を示します。

◇**基本計画** 基本構想を実現するため、基本構想に示した政策の基本的な方針等を具体的な事業計画として位置付けるものです。基本計画には、「茅野市地域福祉計画」や「茅野市こども・家庭応援計画」などの分野別計画を位置付けます。



計画期間

第5次茅野市総合計画は、2018年度を初年度とし、2027年度を目標年度とする長期10か年計画です。ただし、総合計画の進行管理や社会経済情勢の変化に対応するため、必要に応じて2022年度に見直しを行います。

目 指すまちの将来像

将来像とは、まちづくりの方向性や将来の姿を表現したものであり、将来におけるまちづくりの意思を明らかにし、市民とともにまちづくりを進めるうえで、共通の目標とするものです。

ハケ岳の自然、人、技、歴史が織りなす やさしさと活力あるまち

The city of kindness and vitality
woven with the threads of Yatsugatake nature, people, craft and history

【将来像に込めた想い】

茅野市は、ハケ岳連峰を代表する雄大な自然に抱かれて、縄文時代以来の長い歴史を歩んできました。長い時間（とき）をかけて培われた、「自然との共生」、「人と人とのつながり」、「生きる糧となる産業（技）」、「縄文文化や代々引き継がれてきた歴史（文化・伝統）」は、私たち茅野市民の誇りであり、財産です。

私たちは、先人の努力により培われた財産を引き継ぎ、守り、育て、さらにその価値を確かなものにして次世代へとつないでいくとともに、まちの営みを構成する様々な要素を紡ぎ、織りなすことにより、暮らしやすく、より住み心地の良い「やさしさ」と、これから先の人口減少・少子高齢化に立ち向かう「活力」が満ち溢れたまちになることを目指します。

<やさしさのあるまち>

- ハケ岳の麓に広がる緑豊かな自然環境や景観を次世代に残すこと
- 様々な歴史的文化や地域の伝統を守ること
- 市民同士がお互いを尊重し、支え合い、助け合うこと

<活力あるまち>

- 市民一人ひとりが生きがいや目標をもって心身ともに健康で長生きであること
- ものづくりの技術や観光地・別荘地などの地域資源を活かした活発な産業活動によって、経済的に豊かであること
- 公立諏訪東京理科大学や同大学の学生と連携した、夢のあるまちづくりが行われていること

まちづくりの基本指針

目指すまちの将来像の実現に向けて、基本計画の中で特に重点的に取り組んでいく5つの視点を「まちづくりの基本指針」として定めます。

1 地域やあらゆる世代で支え合う仕組みづくり

地域における高齢者の見守りや子育て支援、自主防災組織活動の充実など、共助の取組を一層活発化することにより、地域が元気になり、市民が安心して暮らせることを目指します。特に、地域コミュニティの活動を更に活性化させるため、公民館の積極的な活用を進めます。

2 21世紀を生きる力を育む仕組みづくり

ハケ岳連峰の豊かな自然と縄文文化に抱かれた郷土を愛し、豊かな心を育み、人としての品格を養う教育の理念のもと、読書教育を中心として、幼保小連携教育や小中一貫教育、英語教育やICT教育、縄文教育の充実などをとおして、保育園、認定こども園、幼稚園、学校及び地域社会が連携した「21世紀を切り拓く、心豊かでたくましくやさしい夢のあるひと育ちの茅野市教育」を進め、「生きる力」を育むことを目指します。

3 まちの活力の向上を図る仕組みづくり

ものづくり技術を中心とした地域産業や縄文遺産、歴史、文化、自然環境などの地域の強みをより一層いかして、まちの活力を向上させます。特に、ちの観光まちづくり推進機構を主体とした観光をいかしたまちづくりと、公立諏訪東京理科大学と連携したまちづくりを推進します。

4 安全・安心・豊かな暮らしを支える社会基盤づくり

豊かな自然や素晴らしい景観を次世代につないでいく取組を進めるとともに、市民が生活していく上で欠かすことのできない道路や上下水道といったインフラ施設、保育園や小中学校といった公共施設の計画的な整備を進めます。特に、大規模な災害が発生した場合の災害対策拠点機能の強化を図ります。

5 あらゆる主体による協働のまちづくりに向けた仕組みづくり

従前の活動分野や地区における連携に加え、民間企業、各種団体、個人、地域との連携など、あらゆる主体がつながりを築き、地域課題を解決していくためのパートナーシップのまちづくりを理念とした人づくり、場づくり、関係づくりを進めます。

ゆいわーく茅野を拠点施設として、あらゆる主体が協働しながら課題解決を図り、全てのステージでの協働の取組が織りなす住民主体によるまちづくりを活発に展開します。

基本政策

基本政策 1 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉）

○ 保健・医療・福祉の連携一体化を推進し、心身ともに健康で暮らしやすい地域を創造し、「人にやさしくお互いに支えあうまち、住んでてよかった茅野市」を目指します。



政策の方向性を実現するための主な事業

- 福祉21ビーナスプランの推進
- 認知症総合支援の推進
- 障害者福祉の充実
- 特定健診の実施
- 各種栄養講座の実施
- 保健福祉サービスセンター機能の充実
- 在宅医療・介護連携の推進
- 地域生活支援事業の充実
- 特定保健指導の実施
- 食育イベント・食育講演会の実施



基本政策 2 生涯を通じて学び続け、未来を切り拓く、心豊かなひと育ち（子育て・教育・文化）

○ 市民一人ひとりが学び続けられる環境を整え、創造力あふれる人づくりを目指します。
○ 人と人とのつながりを大切に、地域と共に次世代を担う子どもたちの『生きる力』を育みます。



政策の方向性を実現するための主な事業

- 学校教育の充実
- 保育園・小中学校の施設整備及び建て替えの推進
- 乳幼児時期の保健・保育・教育の充実
- 読書の森 読りーむinちの活動の支援
- 優良芸術鑑賞事業の実施
- 体育施設の整備
- 子どもの居場所づくりの推進
- 地域における子育ての推進
- 社会教育施設運営の充実
- 市民館の管理運営
- 縄文の里史跡の整備活用
- 親子で運動の推進



基本政策3 ハケ岳の豊かな自然と人が調和する 環境先進都市づくりと安心な市民生活の確保(環境・市民生活)

- 自然環境・生活環境の保全や循環型社会の構築などに向けた取組を推進し、良好な環境を次世代に継承します。
- 安全で安心な市民生活の確保に取り組みます。



政策の方向性を実現するための主な事業

- 環境保全対策の充実
- 生物多様性の確保
- 里山づくりへの支援
- 水資源・水環境保全対策の推進
- 公害の未然防止及び苦情対応
- 水質検査の実施
- 地球温暖化対策の推進
- 環境マネジメントシステムの推進
- 環境美化活動の推進
- 3R(発生抑制、再使用、再利用)の推進



基本政策4 「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」活力と活気あふれるまちづくり (産業経済)

- 様々な地域資源を活用した新たな付加価値の創出や地域ブランドの形成を図るとともに、各産業の経営力や技術力等の強化、人材の確保・育成、事業活動の基盤となる環境整備を進め、活力と活気あふれるまちづくりを目指します。



政策の方向性を実現するための主な事業

- 農業担い手育成の支援
- 小規模農家等への支援
- 森林整備・環境整備の促進
- 間伐材利用の促進
- 創業等への支援
- 商店街活性化等イベント事業への支援
- 産学公等連携事業の推進
- 企業の生産基盤強化と立地の支援
- 観光振興に向けた人材育成・組織強化
- 総合観光案内所の整備
- 地域を支える建設産業の育成
- 労働力確保と雇用対策



基本政策5

豊かな自然と共生した安心・快適なまちづくり（都市基盤）

- 道路や河川、上下水道といったインフラ整備を進めます。
- 人口減少・少子高齢化などに伴い生じる空き家増加などの課題に取り組んでいきます。
- コスト面だけでなく都市基盤全般を考慮した持続可能なまちづくりを目指します。



政策の方向性を実現するための主な事業

- 都市基盤整備の促進
- 中心市街地環境整備の推進
- 道路改築・改良事業の実施
- 河川整備の促進
- 公園整備・景観保全の推進
- 建築物耐震改修の促進
- 空家等対策事業の実施
- 上水道基幹管路の更新
- 配水池の更新
- 下水道長寿命化対策の実施
- 雨水排水施設の整備
- バス交通の確保



基本政策6

やさしさと活力あるまちづくりを支える持続可能な行政経営（行政経営）

- 目指すまちの将来像や、各政策で実施する様々な取組を着実に実現していくため、市民のまちづくりへの積極的な参加と、茅野市の経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報を最大限に活かした持続可能な行政経営を進めます。



政策の方向性を実現するための主な事業

- パートナーシップのまちづくりの推進
- 区・自治会への支援
- 市民活動の普及、啓発、連携、支援
- 行政評価の実施
- 民間活力の導入
- 職員研修と人材育成
- 収納率の向上
- 財政計画の策定
- シティプロモーション戦略の策定と推進
- 動画を活用した情報発信
- 公共施設等総合管理計画の推進
- 家庭・教育等における男女共同参画の推進



政策横断プロジェクト

政策横断プロジェクト1

5000年の歴史(とき)を未来につなぎ
力強く明日が輝く茅野市をつくる(人口減少・少子高齢化対策の推進)

茅野市が将来にわたって持続可能なまちであるため、雇用(仕事)創出、移住推進、観光推進、子育て支援、コミュニティ支援の5つの視点による具体的な事業の推進を通じて、人口減少・少子高齢化対策に取り組みます。



政策の方向性を実現するための主な事業

- コワーキングスペースの運営
- スワリカブランド創造事業の推進
- 空き家住宅の活用促進
- 民間との協働による移住推進
- 茅野版DMOを核とした観光まちづくりの推進
- 多子世帯に対する保育料の軽減
- 幼保小連携教育の推進
- 自主防災組織に対する活動支援
- 区・自治会活動の活性化支援



政策横断プロジェクト2

自助、共助、公助による災害に強い支え合いのまちづくり
(災害に強い支え合いのまちづくりの推進)

市と市民、自主防災組織、防災関連機関と連携し、地域において人と人が支え合い「地域の安全は地域の力で守る」意識の醸成により、安全で安心な災害に強いまちづくりを進めます。



政策の方向性を実現するための主な事業

- 地域防災計画の推進
- 防災訓練の実施
- 防災用備蓄品の充実
- 防災無線の維持管理
- 防災気象情報システムの運用
- 自主防災組織に対する活動支援
- 防災ガイドブックの改定
- 避難行動要支援者への支援
- 防災出前講座
- 災害危険箇所調査
- 災害対策拠点の整備



政策横断プロジェクト③

優れた縄文の文化・精神を取り入れ、活かし、継承するまちづくり
(縄文を活かしたまちづくり、ひとづくりの推進)

縄文プロジェクトにおける5つの視点、①縄文を識る、②縄文を広める、③縄文を産み出す、④縄文を楽しむ、⑤縄文を守る、から政策横断的に事業を推進し、縄文によるまちづくり、ひとづくりに取り組みます。



政策の方向性を実現するための主な事業

- 縄文を識る推進事業の実施
- 縄文ホームページの運営
- 縄文関連商品開発に対する支援
- 尖石縄文まつりの開催
- ハケ岳JOMONライフフェスティバルの開催
- 縄文の里史跡の整備活用
- 尖石縄文文化賞の運営



政策横断プロジェクト④

心豊かな多文化共生社会の実現をめざす
(多文化の共生と国際交流の推進)

国籍や文化の違う人々が互いを認め合い、ともに地域社会の構成員として生活することができる多文化共生のまちづくりを目指すとともに、国際交流事業を通じ、国際感覚豊かな人材の育成を図ります。



政策の方向性を実現するための主な事業

- ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業の実施
- 中学校台湾交流事業の実施
- 外国籍市民相談
- 生活情報ガイドブックの作成
- 日本語教室の開催
- 日常生活相談の実施
- 市役所申請書等の翻訳
- 外国籍市民向け生活情報講座



ICTを活用して、市民生活・教育環境の向上、雇用・産業の創出などを進めるとともに、ICTが市の各政策における事業実施にとってより良い方向に進むための下支えとなり、市民が暮らしやすいまちになることを目指します。



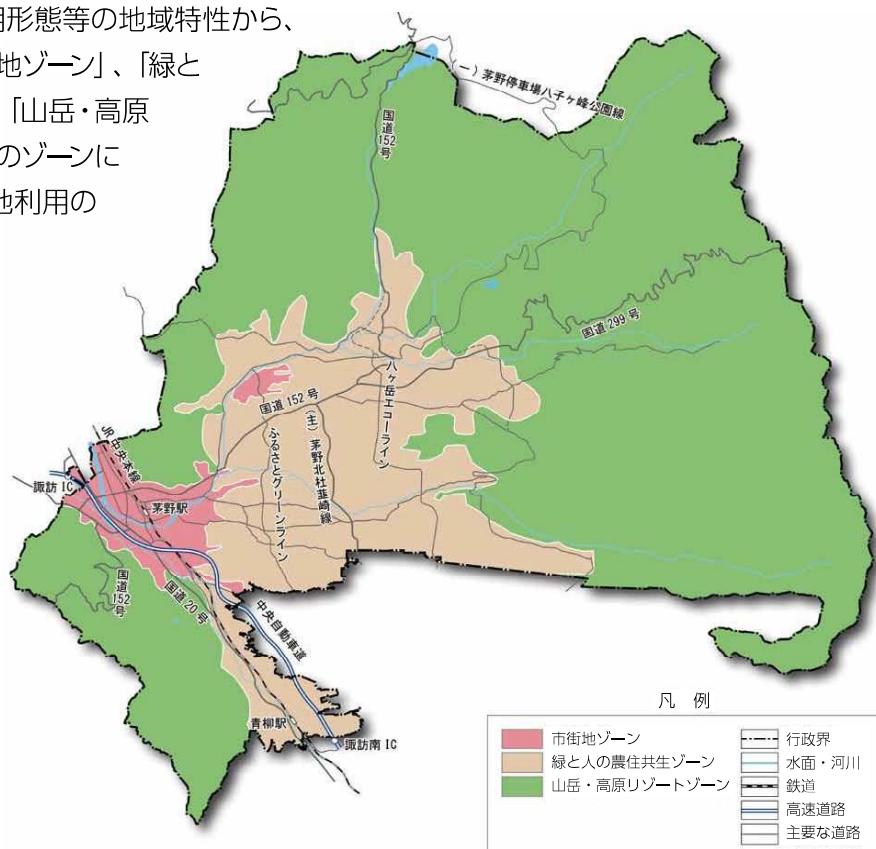
政策の方向性を実現するための主な事業

- 教育におけるICT活用
- 市民向けスマホアプリの導入検討
- LPWA技術を活用した実証実験と事業化検討
- コワーキングスペースにおけるICT化推進
- ペーパーレス会議、庁内テレビ会議の推進
- マイナンバーカードの活用による住民サービスの利便性向上
- インターネット動画番組制作配信
- SNSによる情報発信



土地利用構想

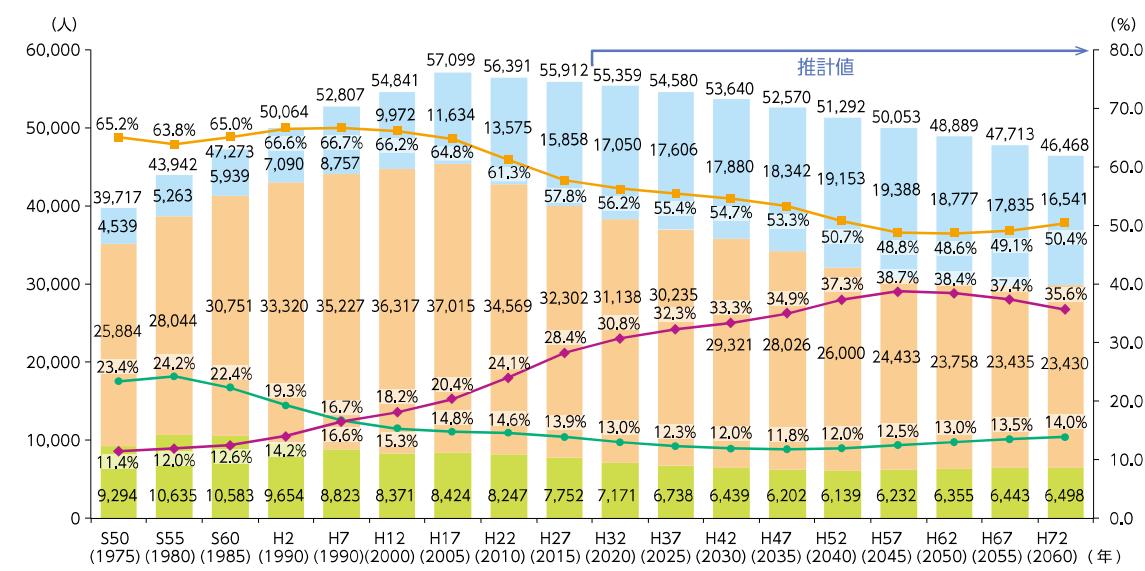
自然地形や土地利用形態等の地域特性から、茅野市の土地を「市街地ゾーン」、「緑と人の農住共生ゾーン」、「山岳・高原リゾートゾーン」の3つのゾーンに設定し、それぞれの土地利用の方針を定めています。



将来展望人口

第5次茅野市総合計画の推進にあたり、茅野市の人団がどのように推移していくのか推計することは、これからまちづくりを考えるための重要な事項です。

出生率の向上や子育て環境の整備、移住・定住・二地域居住の推進、産業振興、交流人口の増加、地域コミュニティ活動の充実といった人口減少対策の効果を見込んだ推計を行った結果、将来展望人口は、2040年に51,292人、2060年に46,468人になると推計されています。

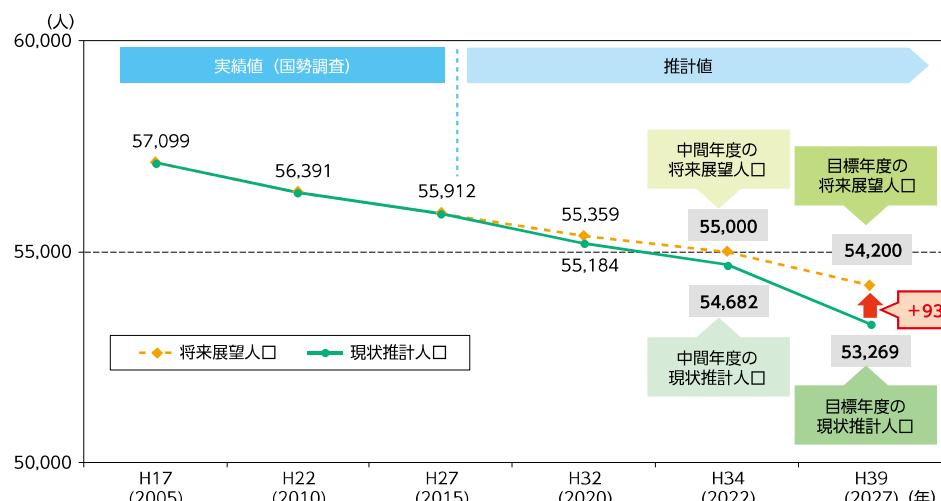


(資料) S50(1975)～H27(2015)：総務省統計局「国勢調査」
H32(2020)～H72(2060)：茅野市にて推計

(注) H12(2000)～H27(2015)は年齢不詳人口がある。このうちH22(2010)及びH27(2015)については、年齢不詳人口を年齢3区分にそれぞれ按分してある

この推計結果を受け、第5次茅野市総合計画における将来展望人口を以下のように設定します。

	中間年度(2022年度)	目標年度(2027年度)
将来展望人口	55,000人	54,200人
【参考】現状推計人口※	54,682人	53,269人



※現状推計人口：国立社会保障・人口問題研究所の推計方法を基本に、出生率、純移動率が現状のまま推移すると仮定した推計人口

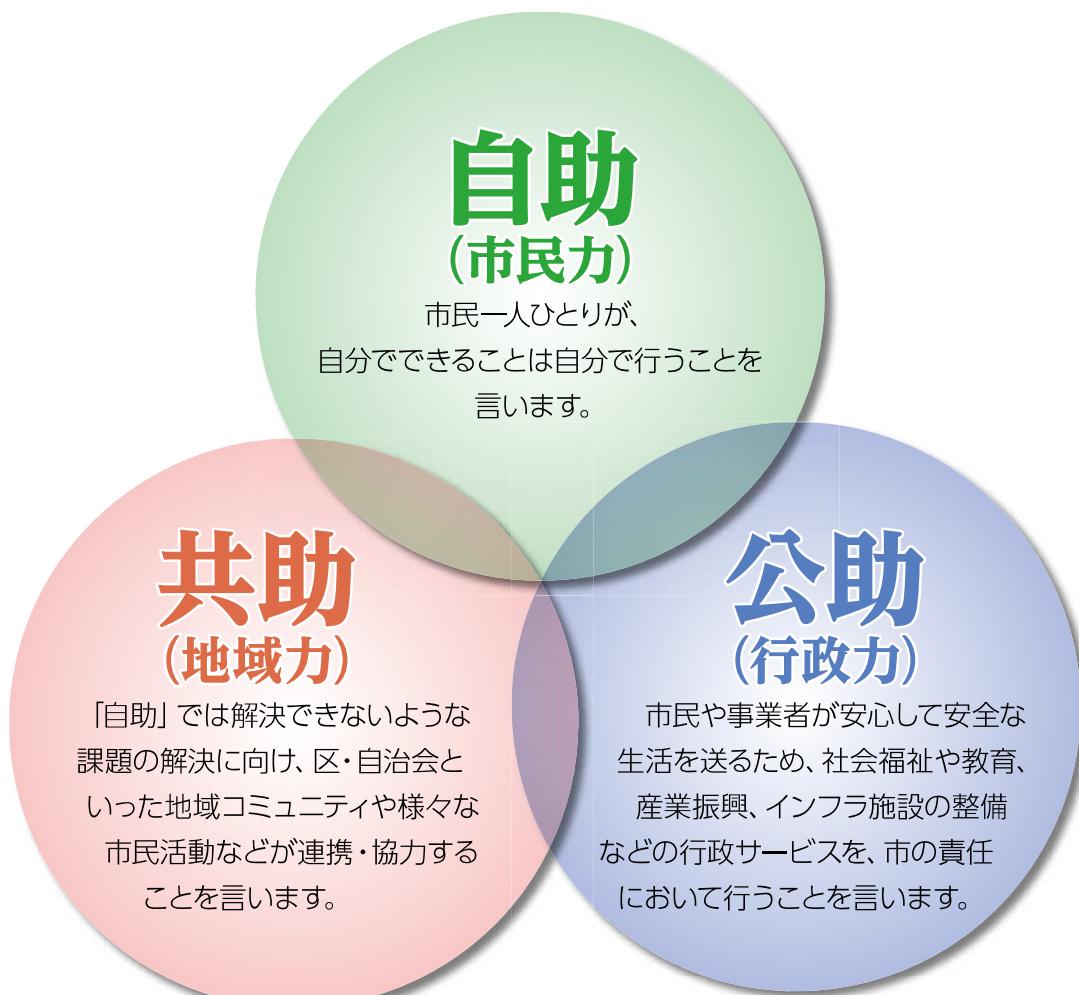
構想推進のために

1 市民参加と協働による自助・共助・公助のまちづくり

人口減少や少子高齢化の進行など、まちづくりの課題が多様化、複雑化する中で、基本構想を推進し、目指すまちの将来像を実現するためには、住民自治力の更なる向上が不可欠です。そのためには、「自助」、「共助」、「公助」の考え方を基本として、パートナーシップのまちづくりの理念と手法の下、様々な活動を行う市民や市民活動団体、事業者、行政などが相互に連携し、協働するまちづくりの実践が重要となります。

協働の取組にあたっては、より良いパートナー関係を築くことが大切になります。そのため、対等な立場で共に議論する中で、想いや情報を共有し、お互いに十分なコミュニケーションを図り、信頼関係を築いていく、こういったプロセスを重視して丁寧な合意形成を図りながら協働の取組を進めて行きます。

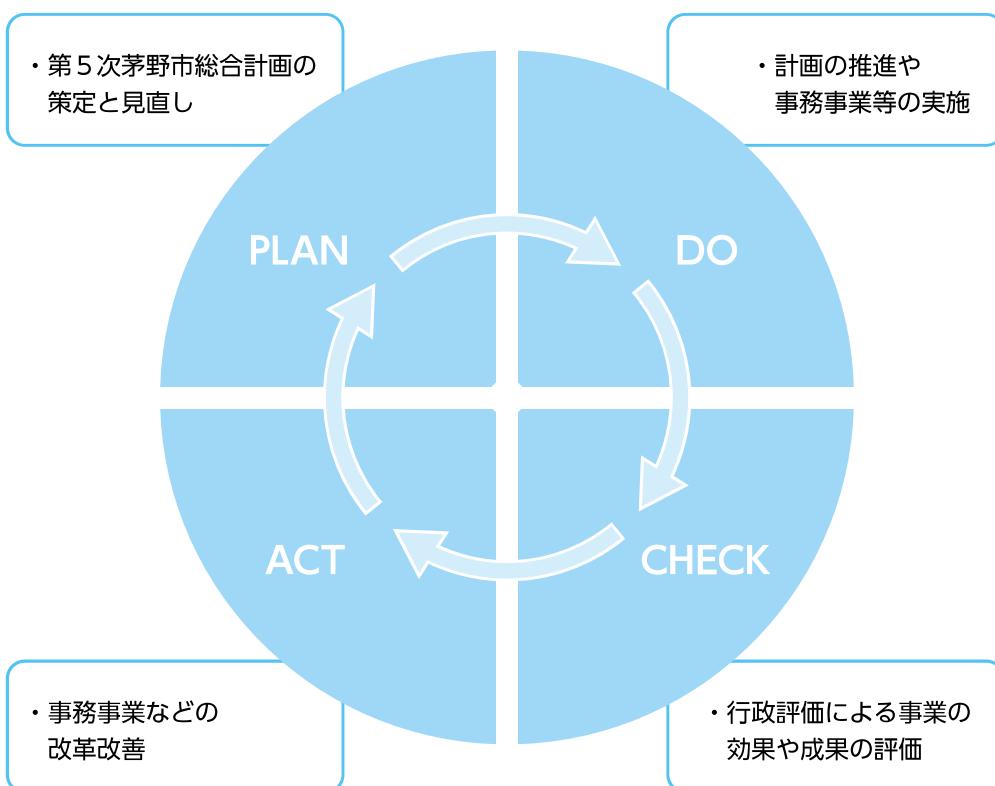
これまで築いてきた関係や実績を大切にしつつも、常に、現在や将来のあるべき姿に向けた不断の見直しの必要性を共有しながら、市民参加と協働による自助・共助・公助のまちづくりを進めます。



2 計画の推進と進行管理

(1) 計画の推進にあたってのマネジメントの実施

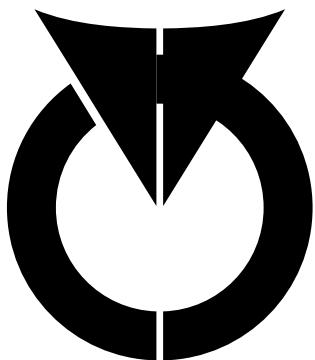
各計画に定めた数値目標やその進捗等の把握を中心に、「計画 (PLAN)→実施 (DO) →評価・検証 (CHECK) →改革・改善 (ACT)→計画 (PLAN)」のマネジメントサイクルに基づき、継続的な施策・事業の改善・見直しを行いながら、効率的・効果的に着実な計画の推進を図ります。



(2) 計画の推進における市民参画

第5次茅野市総合計画の策定にあたっては、パートナーシップのまちづくりの手法により、広く市民の皆さんに参加をしていただきました。

計画の推進にあたっても、分野別計画に沿って市民の参画を得ながら、事業の実施、計画の評価や見直しを行います。



みんなでつくる みんなの茅野市

第5次茅野市総合計画

発行 2018年9月 長野県茅野市
企画・編集 茅野市役所 企画部企画財政課
〒391-8501 茅野市塚原二丁目6番1号
TEL.0266-72-2101
<http://www.city.chino.lg.jp/>